

自衛隊プレミアムボディ2025で募集広報活動実施



神奈川地本横浜中央募集案内所（所長 狩野圭二等陸尉）は、8月10日（日）、横浜ランドマークホール（横浜市西区みなとみらい）で開催された「自衛隊プレミアムボディ2025」に参加し、募集広報活動を行った。

当日は、県内各所から集まった広報官ら12名で募集広報ブースを設置し、入場開始から開会までの時間や2回の休憩時間を活用してアンケートによる対象者情報を取得したほか、神奈川地本所属で選手として出場した2名の隊員への応援・激励を行った。また、神奈川地本キヤラクター「はまにゃん」も登場し、来場者との写真撮影に応じるなど人気を集めた。

会場には自衛隊関係者の家族や友人らが多数来場し、熱気に包まれる中で競技が繰り広げられた。来場者からは、「制服姿が格好いい」「一緒に写真を撮りたい」といった声も寄せられ、防衛省・自衛隊に対する理解と認知の向上につながった。

横浜中央募集案内所は、「若年層をはじめ多くの方々に自衛隊の魅力を伝え、志願者確保につなげられるよう、今後も積極的に広報活動を展開していく」としている。



自衛隊志願者向け 学科対策勉強会を実施



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 児玉 憲幸一等陸尉）は8月12日（火）から17日（日）まで、事務所内において、自衛隊採用試験を目指す志願者を対象とした「学科対策勉強会」を開催した。

この勉強会は、志願者の学力向上と試験合格率の向上を目的とし、各人の苦手科目克服に重点を置いて行われた。当日は最大11名の少人数制で実施され、自衛官募集相談員として活動している元教師や塾講師が、国語・数学・英語など主要科目の基礎から応用までを丁寧に指導した。

授業は参加者一人ひとりの習熟度に合わせて行われ、学習の合間には互いに励まし合う姿も見られた。参加者からは「苦手だった数学の解き方が分かり、自信がついた」「仲間ができて心強い」といった声が寄せられた。

今回の勉強会を通じて、参加者は学科面での力を高めるだけでなく、仲間とのつながりや試験に対する意識も向上した様子がうかがえた。

平塚地域事務所は「今後も試験対策や進路相談、体力向上のための支援など、志願者の入隊までのフォローを継続的に実施していきたい」としている。